

「あおもり家庭教育アドバイザースキルアップ講座」

令和6年11月17日（日）県総合社会教育センターより配信

1 内容

【講義】「スマホと子育て」

講師 株式会社 ミヤノモリ・ラボラトリー
代表取締役 たかはし たいよう 高橋 大洋 氏

トラブルの多くはネット以前に原因



【経歴】

早稲田大学社会科学部を卒業後、フィルタリングやセキュリティ関連などIT企業での勤務経験をいかし、保護者や教員、子どもたち自身の「ネットとの上手なつきあいかた」についての研究や教育啓発の取り組みを行っている。また、テックコーチ、睡眠アドバイザーとして、保護者向け、教員向け、児童生徒向け、大学生向け、シニア向けに講演を行っている。

2018年 株式会社ミヤノモリ・ラボラトリーを設立 代表取締役

2020年 放送大学大学院 文化科学科文化科学専攻 修士課程修了

【講義要旨】

- ・子どものインターネット利用の捉え方として、「デビューの低年齢化」「娯楽消費利用への偏重」「コミュニケーション利用」の3つのキーワードが挙げられる。
- ・子どものネット利用の課題として、デビューの低年齢化による発達段階との不一致、動画視聴やゲーム等の娯楽利用に偏ることにより睡眠に影響が生じたり、社会的経験の不足につながったりしている。さらには、SNS等のコミュニケーション利用の中で、不要なトラブルが多発している。
- ・子どもは「大人」になるまでに、基礎的な知識（インターネット特有の性質）を学ぶ必要がある。また、実践（思いどおりにならない経験）を通じて技能（適切な距離の取り方やバランスの保ち方等）を高める必要がある。
- ・保護者の果たすべき役割として、子どものネット利用をリードすること、子どものネット利用をフォローすることである。
- ・「ネットの使い方」よりも、生活全体のリズムに焦点を合わせ、「ネット以外の時間」を豊かにすることを最優先にすることが大切である。

2 受講者の感想

- ・こどものネット利用の本当の課題や18歳になるまでに身に付けておくべきネット利用スキル、親としてのかかわり方など、今までもっていなかった視点を教えていただき大変勉強になりました。
- ・そもそも子ども達よりも大人の方がルールを決めていない、ネットニュースを丸ごと信じている状況も疑問です。寝る時間までスマホ三昧の人も多いので、「あおもり家庭教育10か条とネット利用」についての関連性には納得です。派遣があった際には、講義の内容を使わせていただきたいと思います。
- ・インターネットの利用について注目しがちですが、生活全体のリズムやインターネット以外の時間の過ごし方を考えることが大事であるという高橋先生のお話に目から鱗が落ちました。インターネットの利用だけを注視するのではなく、こどもや家族の過ごし方を総合的に捉え、考えていくことが大切だと思いました。